

文化・芸術の広場



「秋の彩り」

芳中 俊一 さん撮影

カメラ キヤノンF1
絞リ F16 シャッター 60分の1
フィルム コダック

ピンボケ会

本選

小康こまごうの母の寝息と虫の音と

秋水しゅうすいやぶらり立ち寄る豆腐店

レプリカの墳墓に星座虫時雨むししぐれ

残暑ざんじゆから退きて阿修羅の前に立つ

蒼天そうてんに余生を想ふ水の秋

花田ムツ子

摩治 廣子

野上マチ子

木下 民子

大塚 和子

俳句会

(九月例会)

大庭土筆選

短歌会

(十月例会)

矢野京子選

山に湧く水にて作るうのはななの温ぬくきを求め来き うす味にせむ

朝はやもつくつく法師かしましく夕ゆふべはリーニン鈴虫の鳴く

受け継がるる村の祭りの白き旗はためく音に秋深みゆく

改築後のどの部屋もカーテン新しくなりて過ぎゆく風かぜにふくらむ

父眠るお墓へまいる道すがら今年も白く秋明菊あきく咲く

香月 昭子

井上あつ子

金田トシ子

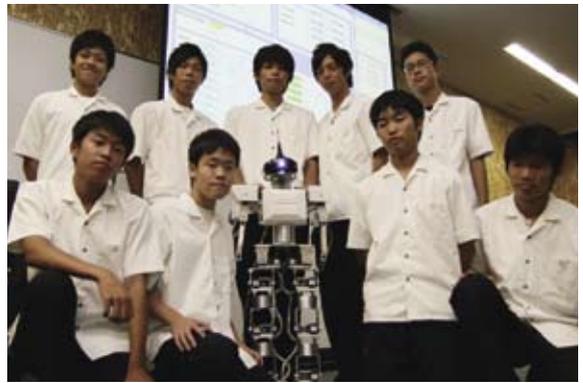
藤川ミヤ子

大音 康子



交通安全に心がけるよう、お願いします！

9月24日、多くの乗降客が行きかう早朝の桂川駅前に、園児の「交通安全をよろしくお願いします！」という元気な声が響きました。これは秋の交通安全県民運動の一環として、桂川幼稚園児や交通安全協会・行政合同による街頭啓発で、掛け声とともにチラシやペットボトルカバーを配って交通安全に心がけるよう呼びかけました。園児たちの笑顔に、乗降客もニコリ。交通事故には、十分に気をつけましょうね。



本初の快挙！未来への新たな第一歩！

嘉穂総合高校のロボットシステム科では、人の住環境対応型二足歩行ロボットを製作し、10月2日にその製作発表会が行われました。モーター以外のほとんど全てを自分たちで製作。ロボットの制御プログラムも夏休み返上で1から作ったとのこと。身長120cm、小学校2年生ほどの等身大二足歩行ロボット製作は、国内の高校では初めてで、「来春までには、階段を登れるようにしたい」と技術者の卵の学生たちは笑顔で語ってくれました。

編集＊後記

▶ 秋は、広報にとっては一年で一番忙しい時期といえるのではないのでしょうか。町の様々なイベントあり、運動会あり、各地域の行事ありと、町内のあちらこちらに伺わせていただいています。

▶ いく先々でまず最初に言われるのが「イラストと本当によく似ているね。」ということ。広報担当になって、取材の時には“赤い帽子と水色の腕証”を欠かさず身に付けて、トレードマークにしてみました。最近では、こちらから名乗る前に「町報」と聞かれることもしばしば。皆さんに覚えていただいて、広報担当としてはありがたい限りです。

▶ 次によく言われるのが「痩せようね？」というお気遣いの言葉。まだまだ動き足りないのか、脱メタボ宣言できるまでの道のりはずいぶん先のようにです。“痩せなければ”とは思うのですが…

▶ “ああ～！” いろいろな物が美味しくなる食欲の秋。これからの季節、食べた分を消費するために、皆さんの元へは一層張り切って取材に伺わせていただきます。(齊藤)

